

## 令和元年沼津市教育委員会第6回定例会会議録

1 日 時 令和元年10月24日（木） 午後3時00分～午後4時45分

2 場 所 沼津市立門池小学校 2階学習室

### 3 日 程

(1) 開会

(2) 会議録署名人の指名（川口委員 土屋委員）

(3) 教育長職務代理者の指名

(4) 教育長報告

(5) 議案

なし

(6) 協議

なし

(7) 報告

1) 令和元年9月市議会定例会一般質問等について

2) 第37回沼津市山口源新人賞の決定について

3) むまづ伝統文化体験フェスティバル2019の開催について

4) 香陵公園周辺整備PFI事業の事業者選定結果について

(8) その他

1) 文化振興に関するイベントの案内について

(9) 報告

5) 沼津市のいじめ・不登校の状況について

6) 平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査について

### 4 出席者等

教育長 奥村篤、教育長職務代理者 川口浩史、委員 三好勝晴、委員 土屋葉子、委員 重光純、教育次長 芹澤一男、学校教育課長 遠藤宗男、教育企画課長 金子昭人、学校管理課長 佐藤高志、教職員研修センター所長 川口郁代、文化振興課長 原将史、スポーツ振興課長兼副参事（新市民体育館建設準備担当）兼勤労者体育センター所長兼屋内温水プール所長 山岡慶博、スポーツ振興課管理係長 安室伸哉、調整担当 中澤芳子、教育企画課長補佐 後藤寿代、教育企画課指導主事 加納真、教育企画課主査 飯田彩美、教育企画課主事 重野友見

### 5 会議内容

(1) 開会

奥村教育長が午後3時00分開会を宣言する。

奥村教育長

一昨日、10月22日は即位礼正殿の儀ということで、日本の伝統文化の重さを強く感じたところである。また、富士山の初冠雪も見ることができたが、台風が近づいている影響で西日本は

現在かなりの雨が降っている模様である。今回、台風上陸はないようであるが、まだ台風19号の爪痕が残り、復興が全然進んでいない中で、また台風が近づいていて心が休まらない日が続いていると思う。

本日は、沼津市で一番新しい校舎である門池小学校の校舎で、定例会を開催する。

(2) 会議録署名人の指名

奥村教育長より、会議録署名人に川口委員、土屋委員を指名する。

奥村教育長より、本日の会議は公開とするが、報告事項5の案件は11月市議会定例会で報告する事項であり、報告事項6は公表前の事項であるため、非公開とすることを委員に諮り、了承される。公開案件から進行することとする。

傍聴人 0人

奥村教育長より、川口浩史委員が9月市議会定例会において沼津市教育委員として任命の同意の議決があったことについて報告する。

奥村教育長

川口委員に改めて一言ご挨拶いただきたい。

川口委員

これからの4年間、2期目を務める。4年前は、推されて受けたが、右も左も、上も下もわからないような中であつたが、歴代の教育長、関係各位の支援を受けて務めてきた。これから4年間、またよろしく願いしたい。

奥村教育長

今後も総合教育会議の開催や教育基本構想の改定を予定しており、よりよい教育環境の整備、社会教育の充実に向けて、教育委員会として検討を進めていきたい。力を合わせてやっていきたい。よろしく願いしたい。

(3) 教育長職務代理者の指名

奥村教育長より、教育長職務代理者について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第2項に基づき、新たな教育長職務代理者として重光純委員を指名する。

(4) 教育長報告

奥村教育長

9月13日から10月16日まで36日間の会期で9月市議会定例会が開催された。一般質問では、6月市議会と同様、40を超える質問を受けた。具体的には、全国学力・学習状況調査、これは今年初めて英語に係る調査があつたところである。そして、来年から小学校で始まるプログラミング教育について、また、新しい学習指導要領におけるキーワードのひとつ、カリキュラムマネジメントについて。こういった学校教育に関する質問が多くあつた。後ほど、事務局より提出議案や一般質問等についての詳細を報告する。

第46回を迎えた沼津市芸術祭が開幕し、10月9日に開会式が行われた。市長、議長とともに出席をし、テープカットを行った。プラサヴェルデの会場で書道展が行われ、展示を見せていただいた。これに先立ち、10月6日に御用邸記念公園の東附属邸の翠松亭で茶会が開かれ、参加した。11月17日までプラサヴェルデと市民文化センターを中心に、19部門で展示や発表が行

われるので、ぜひご覧いただきたい。

10月8日には、三好委員、土屋委員にも列席いただいたが、市役所にて第36回沼津市小中学生科学研究奨励賞表彰式が行われた。この前段として9月7・8日にはプラサヴェルデにて沼津市児童生徒研究作品展が行われた。この作品の中から科学研究奨励賞として表彰したものであるが、長い期間にわたって研究したものととして小学校3年生から中学校3年生までの7年にわたって自分の決めたテーマを継続的に、発展的に研究したものがあつた。単年度で研究したものより、ほとんどが複数年にわたる研究であつた。一つのテーマで研究をしていたら、新たな疑問が生まれて、それについて研究を進めたというものが多かつた。ちょうどその前日にノーベル賞の発表があつて、それにあやかつて私も挨拶をしたところである。特にこれからの時代は、物事を探究する力、挑戦する力が必要となり、そのもとになるのが好奇心である、という話をさせていただいた。沼津の子どもたちの中から、素晴らしい研究を続ける人が生まれてほしいと思つた。

それから、台風19号についてであるが、市の文化施設等は閉館の措置を採つた。御承知のとおり、市内では大平地区に甚大な被害が発生してしまつた。床上床下浸水があつたという児童生徒の家もあつたが、ランドセルや教科書などが水に浸かつてしまつたという報告は今のところ受けていない。学校に浸水被害はなかつたが、小学校・中学校合わせて30校に老朽化の影響か、風向きの影響か、雨漏りの被害の報告があつた。石膏ボードが落下したり、校庭の木が折れて遊具が壊れたり、ガラスが割れたりという報告もされている。今回は幸いにも市の教育施設内で人的な被害はなかつたが、全国各地では犠牲になられた方がおり、そのご冥福をお祈りするとともに、被害を受けられた方にお見舞いを申し上げ、併せて、これを教訓として防災に対する備えを今一度確認し、「命を守る」ということを自分で判断し行動できる力を身に付ける指導をしていきたいと思つた次第である。

また、先週金曜日には市の再任用職員と元職員が逮捕される事態となり、市役所としては市民の信用を失墜させるようなショッキングな事件が起きてしまつた。全容についてはこれから明らかとなると思われるが、二度と同じことが起きないようにと市長を先頭に全ての職員が一つとなつて再発防止に向けて全力で取り組んでいく。先日、新市民体育館建設を含む香陵公園周辺整備PFI事業の事業者の決定がなされたところであり、また新屋内温水プールの基本構想の策定に取り掛かっているところであるので、設計発注業者の選定等、これまで以上に透明性、公正性、公平性を明確にして慎重に進めていくものと考えている。皆様に御心配をお掛けし、大変申し訳ない。これから信頼回復、再発防止に向けて取り組んでいく。

そのほかの行事については、資料をご覧いただきたい。教育長報告は以上とする。

<議 案>

奥村教育長 日程（5）議案は、本日は案件なし。

<協 議>

奥村教育長 日程（6）協議事項は、本日は案件なし。

<報 告>

奥村教育長 日程（7）報告事項に入る。

1) 令和元年9月市議会定例会一般質問等について

<令和元年9月市議会定例会における教育委員会関連の議案、一般質問とその答弁の内容について。>

(教育次長 資料に基づき説明)

- 奥村教育長 説明が終わったが、本件に対する御質問、御意見等はいかがか。
- 川口委員 緊急時、防犯・防災対策について、保護者として学校の一斉配信メールシステムに登録しているが、緊急時の対応の判断は、学校が行っているのか。
- 学校教育課長 統一的に決めていることは、天候について、朝6時の時点で大雨・暴風警報が出ているときには自宅待機とすることとしているが、それ以外の場合の対応については隣接する小中学校、中学校区内の校長同士で連絡を取り合い、地域からの情報や、職員が地域の状況を確認するなどした上で、登校時間を決めるなどしている。
- 川口委員 夏に大岡地区で事件があって学校が休校となったことがあったが、休校の措置は中学校区で校長が話し合うなどして決めていたのか。
- 奥村教育長 事件現場に近い10校は全て休校とした。それ以外は時差登校とした。沼津といっても広いので、天候で言うと大雨警報が出ているのに雨が降っている地域とそうでない地域などがあり、学校側で臨機応変に対応している。ただ、兄弟で家を出る時間が異なるということでは保護者としても困るので、中学校区内で対応を合わせるようにしている。そのほかにいかがか。
- 重光委員 現状の確認であるが、ICT環境の整備について、小学校・中学校では、学校内の無線LANの整備はいかがか。
- 学校教育課長 無線LANの整備は100%できている。
- 三好委員 「プログラミング教育」について、もう少し説明してほしい。
- 学校教育課長 「プログラミング教育」の学習の多くは、パソコンを使って行う授業が中心となる。社会の中には、コンピュータのプログラムによって動いたり、制御されたりしているものであふれている。どのような仕組みで、そのような事象が起きているかを理解し、その考え方について学ぶことが、これからの世の中を生きていく子どもたちには重要であり、この学習の主な目的となる。
- 三好委員 世の中にはプログラムされて動いている仕組みがあり、そのことを理解するということか。
- 学校教育課長 世の中には何かをすることで作動したり、反応したり、変わったりするものが多くある。どういう仕組みで、そのような事象が起こるのかを学ぶ学習である。
- 三好委員 パソコンの操作の授業ということか。
- 学校教育課長 先程も述べたが、「プログラミング教育」の学習の多くは、パソコンを使って行う授業が中心となる。ただ、パソコンを使わずに行う学習もある。重要なのは、パソコンを使うことが目的ではなく、何らかのプログラムによって、意図したように動かすことができるという「考え方」を学ぶことである。
- 奥村教育長 重要なのは「プログラミング的思考」ということである。高校までの必修であるが特に「プログラム科」というような科目があるわけではない。中学校

- の授業では、技術科でロボットを動かすというようなことがあるが、算数や理科などの中にも盛り込まれる。そのほかにいかがか。
- 三好委員 外国籍の児童生徒が増えているが、現場で抱えている困りごとについて想起されるものがあるが、実際にはいかがか。
- 学校教育課長 外国籍の児童生徒が増えているということは事実である。そのために、困り感を持っている児童生徒への対応として外国人児童生徒支援員を配置し、学校の資料を母国語に訳して保護者に伝達したり面談の際に同席したりということを行っている。また、来日したばかりでまだ生活に馴染めず、外国人児童生徒支援員も対応できないという児童生徒には、やさしい日本語を使いながら支援をする、日本語学習支援員の配置を行うなどしている。
- 三好委員 学校がどこまで支援をするかということがあるが、防災など緊急連絡の際に伝わらない現状があるということも実際にPTA役員の時に聞いたことがある。各学校に在籍している人数によるのだろうが、体制整備をしていかないとならない。
- 学校教育課長 学校での対応によるところも大きいですが、一律にメールを配信して終わりということではなく、個別に対応する必要がある家庭には、担任が連絡を入れたり知り合いや友人から連絡を入れてもらったりという別の対応を事前に決めて行っている。
- 土屋委員 沼津市においては不就学の外国籍の児童生徒はいないということであり、安心したが、全国的に就学させていない外国籍の児童生徒の問題が表面化しており、こちらが関知していないだけで実際に不就学ということがぜひないように指導していただきたい。
- 学校教育課長 把握している児童生徒に不就学がないということであり、市に住民登録していない方であると全くわからないことになってしまう。関係各課と連携しながら対応してまいりたい。
- 奥村教育長 かつては一時的に来日し、働いて、ある程度貯蓄をして帰国するというケースが多かったが、今は長く日本で過ごし、そのまま移住するということも多い。子どもたちは、生活の中で言葉を覚えるので、コミュニケーションは図れるが、学習用語としてはなかなか理解が難しく、そうすると中学卒業後はどうするのかということになる。高校側の受入もある程度の学力がないと難しく、外国籍の生徒の枠がある制度を活用しながら、日本に住む人として日本で活躍できるよう育てていくようにしていかなければならない。  
そのほかにいかがか。あつという間に、11月議会も近づいているところである。それでは、本件については報告を受けたということで御了承願う。

## 2) 第37回沼津市山口源新人賞の決定について

<本市ゆかりの版画家である山口源を顕彰し、将来有望な版画家に授与している沼津市山口源新人賞の今年の受賞者が決定したことについて。>

(文化振興課長 資料に基づき説明)

- 奥村教育長 説明が終わったが、本件に対する御質問、御意見等はいかがか。

- 土屋委員 受賞者が静岡県出身ということで、身近に感じ、嬉しく思う。沼津の方ではないだろうか。
- 文化振興課長 沼津ではないそうである。たまたま選考された方が静岡県出身であった。
- 三好委員 新人賞というのは、年齢制限があるのだろうか。
- 文化振興課長 特にないそうである。だいたい、学生の方、卒業してすぐの方などが選考されている。
- 土屋委員 庄司美術館での展示は、歴代の受賞作品が全部展示されるのか。
- 文化振興課長 全部というわけではない。新人賞だけで37回目を迎え、現在は授与していないが平成27年度まで大賞作品が17作品ある。その中から展示を行う。
- 奥村教育長 それでは、本件については報告を受けたということで御了承願う。

### 3) ぬまづ伝統文化体験フェスティバル2019の開催について

<11月24日に開催する国指定史跡興国寺城跡で伝統文化を学ぶイベントについて。>

(文化振興課長 資料に基づき説明)

- 奥村教育長 説明が終わったが、本件に対する御質問、御意見等はいかがか。
- 三好委員 毎年行われているイベントなのか。
- 文化振興課長 今年初めて開催する。同時開催の「高尾山穂見神社祭典」は毎年開催しているもの。
- 三好委員 文化庁の支援を受けて行うようであるが。
- 文化振興課長 文化庁の「伝統文化親子体験プログラム地域展開型」事業メニューの採択を受けられたので、文化庁の委任を受けて行う。今年度は、和太鼓を中心に行う。
- 三好委員 今後も続けて実施していく予定であるか。
- 文化振興課長 今年度は和太鼓についてであるが、「伝統文化」と言うとカテゴリーが大変広いので、取り組み方として、次年度は和太鼓ではなく別のものを取り上げ会場も含め、検討していく予定である。今年度は和太鼓が戦国時代の陣太鼓を想起させるということで、北条早雲公没後500年ということもあり、興国寺城跡を会場とした。
- 奥村教育長 それでは、本件については報告を受けたということで御了承願う。

### 4) 香陵公園周辺整備PFI事業の事業者選定結果について

<新市民体育館を核とする香陵公園周辺整備のPFI事業において、総合評価一般競争入札により事業者が決定したことについて。>

(スポーツ振興課長 資料に基づき説明)

- 奥村教育長 供用開始まであと3年3カ月である。説明が終わったが、本件に対する御質問、御意見等はいかがか。
- 三好委員 落札金額に含まれるものは何か。
- スポーツ振興課管理係長 体育館の建設費のほか、15年分の運営に関する経費、新立体駐車場建設ほか外構工事に要する費用が含まれる。

三好委員 武道場の柔道の畳は取り外しができると説明にあったが、硬い床の上に薄い畳1枚ということではないのか。そうであると、競技する側はとても痛くて大会などできないのではないのか。

スポーツ振興課管理係長 床の下にはスプリングが敷いてあり、ただのコンクリートの床ではない。

三好委員 ほかの柔道場と遜色ない環境と捉えてよいか。

スポーツ振興課管理係長 ほかでも柔道場の畳を外して剣道場として使用することは頻繁に行われており、同じような仕様としている。

奥村教育長 そのほかにいかがか。

それでは、本件については報告を受けたということで御了承願う。

#### <その他>

奥村教育長 それでは、日程（8）その他、何かあるか。

#### 1) 文化振興に関するイベントの案内について

<11月に開催予定の文化振興に関するイベントの案内について。>

(文化振興課長 資料に基づき説明)

奥村教育長 多くの方にぜひ足を運んでいただきたい。

本件は報告を受けたということで御了承願う。

---

報告事項5については11月市議会定例会で報告する事項であるため、また報告事項6については公表前の事項であるため、当日は非公開としたが、11月市議会定例会が閉会し、また公表済みの事項となったため、公開する。

#### <報告>

奥村教育長 それでは、日程（9）報告事項に入る。

#### 5) 沼津市のいじめ・不登校の状況について

<沼津市立小中学校におけるいじめ・不登校の状況に関する報告について。>

(学校教育課長 資料に基づき説明)

奥村教育長 説明が終わったが、本件に対する御質問、御意見等はいかがか。

重光委員 不登校の理由として、「学校・家庭にかかる理由」の中に「学業不振」とあるが、本人が「勉強ができないから、学校に行きたくない」という理由とするか、むしろ「本人にかかる理由」ではないかと思う。なぜ「学校・家庭にかかる理由」として挙げたのか。

学校教育課長 「学校・家庭にかかる理由」の中に「学業不振」を含めたのは、学業に関しては学校に関わる部分と捉えてこちらに含めた。重光委員御指摘の通り、そ

- ういった考えもあると思うが、今回、そのように捉えた。
- 奥村教育長 三好委員 三好委員  
また、家庭内でのプレッシャーなども含まれることも考慮した。  
不登校に注目したい。個々の事情を探ることが大変であろうと思うが、現場の先生たちは家庭を訪問することも多いだろう。その中で子どもたちの様子として無気力とか理由がわからないこともあるだろうが、不登校になる理由が何かあるはず。それを先生が探っていくことがなかなか大変なことだと思う。1つのクラスに何人も不登校の児童生徒がいるということになるとまた大変で、現場でどのくらい踏み込んでいけるのだろうか。不登校そのものがいけないということではないが、きっと何かしら理由があって、それにどうやって先生方は寄り添っているのだろうかと思う。
- 学校教育課長  
現場の教員も、苦労しながら対応している状況はある。「1日欠席したら電話をして確認をし、2日欠席したら家庭訪問をする」ということは、校長会でも何回も話をしてきた。1日目から家庭訪問する教員もいる。理由を探っていくのだが、なかなか学校だけでは解決できないこともあり、青少年教育センターに相談を促したり、学校や青少年教育センターのスクールカウンセラーへの相談に結びつけたり、外部の関係団体とも連携をして支援をしていくこととしている。
- 三好委員  
子どもは社会の宝と思う。学校現場が余裕を持って子どもの支援に力を注げる場であってほしい。
- 奥村教育長  
教頭が朝家庭を訪問し、担任が放課後に訪問し、1日2回訪問したということもある。そのほかにいかがか。
- 川口委員  
家庭の問題で不登校となっている場合、内容によってはソーシャルワークである。学校の先生は教育の専門家であるかもしれないが、ソーシャルワークの専門家ではないので、ソーシャルワーカーをもっと活用したほうがいい。ソーシャルワーカーの活用状況はいかがか。
- 学校教育課長  
関係機関で繋いでいくということが有効な手立てと思う。青少年教育センターに1名配置されている。活用状況は手元に資料がないが、関係機関と家庭を繋ぐ活動をしている。
- 奥村教育長  
県でも力を入れているところで、少なくとも、スクールカウンセラーは中学校区で1名、市町にスクールソーシャルワーカーが1名は配置されている。今後、地域の子どもは地域で育てるという考えで、地域の主任児童委員などの力を借りることも考えられる。そのほかにいかがか。この問題は、今後も大事な問題である。本件は報告を受けたということで御了承願う。

6) 平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査について  
＜今年度の全国学力・学習状況調査の検証を行ったことの報告について。＞  
(教職員研修センター所長 資料に基づき説明)

- 奥村教育長  
説明が終わったが、本件に対する御質問、御意見等はいかがか。  
時間の管理はいわゆる自己管理ということであり、「早寝早起き朝ごはん」は



小学校1年生から沼津市全部の学校で言っていること。これは中学に上がって生活に影響してくる。また、冒頭でも話をしたが、「失敗を恐れないで挑戦する心」と自己有用感を育てるということは、各学校で学校経営の大事な柱としているものと捉えている。

それでは、本件については報告を受けたということで御了承願う。

その他、何かあるか。

ないようなので、以上をもって本日の定例会を終了する。

午後4時45分 閉会